

家族懇談会・お茶会のお知らせ
6月17日(日)午後2時より家族懇談会とお茶会を開催します。皆様のご参加お待ちしております。

たのしい5月の様子



ベルモールにお買い物

鯉のぼり作り

みんなでカラオケ大会!

DVDで健康体操

フラダンスのボランティア

6月の予定

1日	職員健康診断
7日	リリムジカ・鬼怒中学校運動会
8日	ホーム喫茶(2時~)
9日	演芸やすらぎ会(1時45分~)
12日	理容(午前中)
17日	本館家族懇談会(午前10時~) 新館家族懇談会(午後2時~)
19日	傾聴ボランティアわらく
21日	歯科往診・リリムジカ
22日	茶道クラブ(午前10時~)
23日	バンド演奏ムーンライト(2時~)
25日	郷間商店(午後2時~)
28日	歯科往診
教員免許授与に係る介護等体験実習 6月4日~29日まで延べ4名受け入れ	

「認知症の人の思い」
認知症になると何もわからないと思う方も多いと思いますが、実際のところ、どうなのでしょう？
私の叔母は2, 3年前から前頭側頭葉変性症という認知症になりました。特徴的な症状としては、計算はできる、本を読むこともできる、しかし家族の顔がわからない、こだわりが強くなり、毎日同じ時間に同じ行動を取らないと気が済まないということです。面会に行っても女の人、男の人という概念はあるようですが誰が来たのかはわからないそうです。今は病院に入院していますが、その入院した日時のごことはよく覚えていて、「〇月〇日にここにきてから、一回もお父さんも娘も来ない」と話をするそうです。この間来たよと言っても、来ていないと言いつけるようです。本人にしてみたら、入院させられたという事実のみ切り取られ、嫌な感情しか残っていないのでしょう。本人の嫌な気持ちに気が付いてあげられないと、「またそんなこと言って！どうしてわからないの！」と怒ってしまったり、適当にあしらってしまったりすることになってしまいます。自分が認知症だったらどうだろうという視点で気持ちを考えられるようにしていきたいですね。

